

教育の質を高める学習方法 いまから始める 協同学習

教師や指導者が一方的に教え込む講義や実習では学習者の理解が深まらないことは、すでに周知の事実です。学生の理解を深めるためには、学生の活動性を高める必要があります。その方法として近年注目を集めているのが協同学習です。

協同学習とは、ともに学んでいる仲間全体の意識を高めていくことを目的とした学習法で、自分の成長のために一生懸命学ぶことはもちろんのこと、仲間の成長にも責任をもつという「協同の精神」を大切にしましたものです。

この協同学習に注目する教師や指導者が看護領域においても年々増え続けています。しかし、協同学習の良さは理解できるが、自分の授業に取り入れようとするとなかなか足を踏む教師や指導者も多いと思います。実際、自分にやれるのか、これまで以上の成果が期待できるのか、カリキュラムに時間的余裕がない専門学校では無理ではないか、などさまざまな疑問や不安がよぎって、悩まれている方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回は、協同学習を実際に一からスタートさせて、一定の成果をあげている学校に、そこに至るまでの取り組みの過程を紹介していただき、まずどう始めればいいのかを知っていただこうと思います。協同学習について基本を学んだうえで、実践例を参考に始めてみる。新年度を待つ必要はありません。協同学習的アプローチは、いまから始められるのです。

教師も学生も充実感を味わえる、生き生きとした授業が増えることを期待しています。